

小児救急外来における けがの腹部超音波検査と CT 検査

- ・強くお腹をぶつけたお子さんの診療では、お腹の中に出血が無いかを確認するため、超音波検査を行います。そして、お腹に出血している疑いがあれば、造影剤というお薬を使用して CT 検査を行いどの部位のけがで、どのくらい重症なのか検査を進めます。
- ・しかし、お腹をぶつけたお子さん方をたくさん診療していると、超音波で出血を疑われても、全くお腹を痛がっていない、元気にしている場合には、CT 検査で「何も異常が無い」可能性があります。
- ・CT 検査で使用する造影剤は、まれではありますがアレルギー反応を起こす原因となります。そして、CT 検査は放射線被曝の問題もあり、避けることが出来れば、その方が望ましいです。

1 . 研究の目的

強くお腹をぶつけて、超音波検査で出血が疑われたが、本当はお腹の中に全く、けがが無いお子さんの特徴を見極められる様にすることです。結果として、不要な CT 検査や、それに伴う造影剤の使用を減らすことです。

2 . 研究の方法

研究対象：当センターにて 2010 年 4 月～2014 年 3 月までにお腹を打って超音波検査で出血の疑いがあると診断された方

研究期間：倫理審査委員会承認後～2022 年 12 月

研究方法：診療録に記載された症状、超音波検査、CT 検査結果から分析

3 . 研究に用いる情報の種類

年齢、性別、腹痛の程度、お腹の張り・押した時の痛み、血液検査データ、超音波検査データ、CT 検査データ等

患者さんのお名前など、ご本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

4 . 情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

5 . 研究実施機関

6 . お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2021年3月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 救急診療科 植松悟子

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181 (平日 9:00 から 17:00 まで)

研究責任者：

国立成育医療研究センター 救急診療科 植松悟子